

令和2年度使用 茨城県第4採択地区 教科用図書の採択理由書

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 飯島 郁郎

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
書写	38・光村 小学校 書写	<p>○点画の書き方や文字の形筆順などに注意しながら正しく書くことができるようにするために色分けによる示し方だけでなく矢印の形状に着目させ、点画の書き方や筆順に注意して書けるよう配慮されている。</p> <p>○自分の文字の課題を発見したり、学習したことを日常生活に生かしたりするために「学習の進め方」において、友達と書いたものについて話し合う活動を取り入れているので、自分で書いた文字の課題に気付く工夫が見られる。</p> <p>○用紙や書式筆記具に関心をもたせ、主体的な学習を促すために学習の振り返りとして、その時間学習したことを「○」「△」で振り返る活動を示し主体的な学習を促している。</p> <p>○児童の発達段階や個に応じた指導に対応するために教材については1年生では「びたっ」「すうっ」「びょん」という擬態語や猫のキャラクターを示し点画の書き方を楽しく覚えることができるよう配慮され、見開きページを取り入れて視覚に訴えるなどの工夫がされている。</p> <p>○教材の構成・配列は1教材1目標とし、学習を通して身に付ける力を教材名としている。その教材で扱う要素を焦点化することで学習の狙いが明確になり効果的に力を付けられる配慮が見られる。</p>

		<p>○硬筆・毛筆の配列では、学習課題について考え、毛筆での学習を効果的に硬筆へ生かせるよう毛筆学習の後に「硬筆のまとめ」を設定している。</p> <p>○文字の濃淡、写真、イラスト、用語の表記等については、文字や図表などに複数の色を用いる場合に、全ての児童が明確に識別できる色の組み合わせに配慮している点に工夫がある。</p> <p>○教材の字形・書体は、単元・教材名や「たいせつ」に、読みやすさと見やすさを追求したユニバーサルデザイン（UD）書体を用いているところに工夫がある。</p> <p>○装丁や使用上の便宜等では、強度が強く鉛筆で書きやすく、裏移りの少ない紙を採用している。統一感のある明瞭な色使いで文字やイラスト、写真が見やすく学習のポイントに注目しやすい工夫がある。</p>
--	--	---